

A 氏邸訪問記(2014.1.12)

1. はじめに

たびたびお邪魔しているオーディオ仲間の A 氏邸ですが、前回は TASCAM のデジタルレコーダー DA-3000 導入直後の試聴会でした。その後 A 氏の DA-3000 による録音も進み、PC オーディオについては USB-201 を導入され、拙宅から CD トランスポート Model 4716 を運んだこともあって今回の訪問となりました。



2. 試聴の経過

まず最初は、DA-3000→DENON のアンプ→KEF LS3/5a の系統で DA-3000 に DSD 録音されたものを聴き、ついで、ブルーレイレコーダーの録画の再生の後、信楽焼のベースをもった 47 研のトランスポートの Model 4716→CCV-5→Birdland DAC→DENON のアンプ→KEF LS3/5a の系統で CD を DSD に変換しながら聴かせていただきました。録画の再生では、GPS クロックの効果の高音質に加えて大画面の色彩感あふれる迫力に圧倒されました。LS3/5a の低音を増強したいとのことで Tannoy の Arden をパラに片チャンネルのみ使用しておられ、その目的は一応達せられ、低音の量感が驚くほど増強されていましたが、やはり両チャンネル使用された方がいいと思われたことと 1 台のアンプからパラに取っているのも、LS3/5a と Arden の音量のバランスが取りにくいのでアンプは 2 台としてボリュームの調整が入った方がいいのではないかと思われました。

次に、DA-3000→上杉アンプ (プリ+メイン) →QUAD のラインアップで DSD 録音音源を、Model 4716→CCV-5→Birdland DAC→上杉アンプ (プリ+メイン) →QUAD の系統で CD を聴かせていただきました。

この過程で、元旦の E テレのウーンフィルニューイヤーコンサートの衛星生中継からの録音や年末の BS 録画からメモリーに録音した DSD 音源や、さらに DSD 音源からダウンコンバートして作成した CDR を使って録音の履歴や媒体の違いについ

て比較を行っていきました。まず、KORGのMR2000sBKとTASCAMのDA-3000のレコーダーの違いについては、厚みがあって暖色系のKORGと透明感があってディテールに見渡せるTASCAMの違いがきっちりと聴き分けられ、好みの違いで評価が分かれました。

次に同じ音源をBuffaloのライターで16倍速で焼いたCDRとPLEXTORのライターで等倍速で焼いたCDRを比較してみました。クラシックをメインのレパートリーとするA氏と小生は音楽の細やかな表情を描き分ける点で等倍速で焼いたCDRを取りましたが、ポップスやJazzを主に聴かれるY氏やM谷氏は違いが分かりにくい、あるいはむしろ16倍速CDRが好みだという意見でした。

次にこれらCDRとSDメモリーのDSD音源の比較ですが、ダウンコンバートしたCDRはSDメモリーのDSD元音源に及びませんでした。なお、直接衛星中継生放送から録音したオリジナルのSDメモリーと事前にA氏にUSBメモリーにコピーしてお送りしたものをさらにA氏のSDメモリーにコピーしたものの比較ではオリジナルのSDメモリーの方の鮮度が高いことが分かりました。この直接衛星中継生放送から録音したオリジナルのSDメモリーになると、その良さは皆を納得させられるレベルになりました。オリジナルのSDメモリーとA氏のコピーSDメモリーの違いはコピーによるものか、SDメモリーのメーカーの違いによるものかは今後の課題となりました。

さらに、e-onkyoからダウンロードしたDSD音源とこれをUSB-201経由でリマスターしたDSD音源（オーディオ実験室のDA-3000の活用(3)—DSD音源のリマスタリング—参照）との比較ではリマスタリングによって音が変わることが確認されました。この後もCDでポップスやJAZZボーカルを聴かせていただきましたが、声のニュアンスのディテールがよく分かり、あたたかみのある癒し系の音が好ましく、昨今の誇張感のあるハイエンド系の音に食傷気味のところ、ほっとさせられる面がありました。

3. まとめ

結論として、①GPSクロックの効果、②リベラメンテシリーズケーブルの効果に加えて、③DA-3000のDSD再生効果が加わったことで、DA-3000のDSD音源の再生はもとより、DA-3000でDSD変換しながらのCD再生もかなりのレベルに達しており、DSD音源や専用のDSD対応DACがなくとも、DA-3000でDSD変換しながらモニター音を聴くことで容易にDSDクオリティの音が楽しめることが分かりました。なお、話が弾んでUSB-201のPCオーディオの音を聴く時間がなくなりましたが、A氏によればUSB-101に比べて大きな進展があったとのことで、これは次回の楽しみとしておきます。

以上

